

不屈の精神「夜学魂」を生んだ

## 札幌夜間中学校

勤労青少年が、風雪に耐えて切磋琢磨した「札幌夜間中学校」を紹介します。

大正十二年（一九二三年）、札幌夜間中学校の前身、札幌中等夜学校が、当時の札幌二中（現在の札幌西高）の校舎を借りて開校しました。これは、経済的事情で就学できない優秀な若者にも、高等普通教育の門戸を開くものでした。

向学心に燃える若者たちは、必死に働き家計を支えながら、学間に励みました。その中から、困難に遭っても挫折せず、粘り強く初志を貫く精神「夜学魂」が



昭和10年ころの生徒（札幌西高「創立70周年・定時制60周年記念誌」から）

培われ、医師や実業家など多数の逸材を輩出しました。

大正末期の廃校の危機にも、

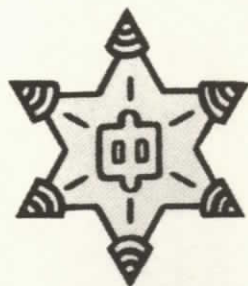
その「夜学魂」

が発揮されます。不況で、授業料の滞納者や退学者が続出したのですが、生徒が自ら滞納者に督促し、教師は寄付を求め駆け回るなど、一丸となって苦境を切り抜けました。

昭和九年には、札幌夜間中学校と改称。かねて念願の昼間校と同等の卒業資格を取得します。これは、特に成績優秀な夜間校に認められるもので、その知らせを受けた時、全校が喜びに沸き返りました。それは、「夜学魂」を合言葉に積み重ねてきた努力が結実した瞬間でした。

その後、二中夜間部へ移行。戦後学制改革を経て、二十五年に札幌西高定時制に発展しましたが、「夜学魂」は「西定魂」として受け継がれています。

（平成十一年十二月号・第六十三回）



校章

昭和3年制定の校章